

## 京都大学附属図書館 和装本閲覧・撮影時の注意点

利用の前

- 以下は資料を傷つける恐れがあるため、予め外してください。
  - ① 首から垂れるもの（長いネックレス、名札、ネクタイなど）
  - ② 腕時計、ブレスレット
  - ③ 大きな装飾のある指輪
- 手をよく洗い水気を十分拭き取ります。ハンドクリーム等は塗らないでください。
- マスクを着用してください。
- 雨などで服が濡れている場合は、十分に乾かしてください。
- 以下の「持込可能な物品」以外のお荷物は書庫入口脇のロッカーに預けてください。

撮影時	黒鉛筆、ノート類、PC、撮影機材、貴重品
持込可能な物品	※消しゴム・シャープペンシルは使用できません。
図書館備え付け	黒鉛筆、紙の短冊（メモ・栞用）、巻尺、卦算（けさん）

閲覧・撮影時

- 資料は両手で扱ってください。
- 余計な力がかからないよう着席して閲覧してください。
- 資料は机の上に平置きにし、開く場合は、資料の両端に卦算を置くにとどめ、力をかけて押さえないでください。資料の上に手をつく、メモを取る、あるいは物を載せることも禁止です。
- 本紙の端（余白部分）を1枚ずつゆっくりめくって閲覧してください。できるだけ、文字や絵などに手が触れないようにしてください。指サックは使用できません。
- 閲覧・撮影前と同じ状態を保つことを意識してください。
  - ・貼られている紙片は剥がさないでください。
  - ・挟まっている紙片やイチョウの葉などの場所を変えてはいけません。
  - ・どのような小さな紙片も散逸しないように気をつけてください。
  - ・どうしても紙片などを動かす必要がある場合は、必ず元の位置に戻してください。
  - ・折り畳まれた資料は、折り目の通りに畳んで元に戻してください。
- 複数の資料が帙に入っている場合は、1冊ずつ取り出して閲覧・撮影します。順番や向きを変えてはいけません。
- 栞を挟む場合、備え付けの紙の短冊を使ってください。粘着性の付箋は使用禁止です。
- 寸法は備え付けの巻尺（金具のないやわらかい素材のもの）で測ってください。
- 撮影は指定する場所でのみ可能です。手洗いや職員への質問などのため一時的に撮影場所を離れる場合、必ず施錠してください。
- 撮影機材が資料に触れたり、資料の上に落ちたりしないよう十分に注意してください。
- 本紙が袋綴じになっている場合、裏面（内側）は撮影しないでください。
- 特別利用（論文・出版物への掲載、学会発表、放送、映像コンテンツでの使用等）を予定している場合は、表紙、登録番号、奥付等も撮影しておく、申請・利用がスムーズです。